

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	成人健康科学	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(15H)	学 期	第2学期
担当講師	田村 智子 (臨床経験11年、教育経験10年)				
科目目標	成人各期における健康上の諸問題について把握し、健康の保持・増進、疾病予防のための看護を理解する。				
授業概要	<p>第1回 1. 生活と健康をまもりはぐくむシステム 1) 成人保健の意義 2) 生活習慣病の概念 3) 国民の健康づくり対策 (1)健康増進法 (2)健康日本21(第2次) 4) 特定健康診査と特定保健指導 5) がん対策</p> <p>第2回 2. ヘルスプロモーションと看護 1) ヘルスプロモーションとは 2) 疾病予防の種類と役割 3) ヘルスプロモーションを促進する方法 4) 職場における健康増進のための環境づくり</p> <p>第3回 3. 健康をおびやかす要因と看護 1) 健康バランスに影響を及ぼす要因 (1)ライフスタイルと健康問題 (2)ストレスと健康問題 2) 生活行動がもたらす健康問題とその要因</p> <p>第5回 4. 成人の健康生活を促すための看護 1) 行動変容と意識変容 2) エンパワーメントエデュケーション 3) コンプライアンス 4) 自己効力</p> <p>第4、6回 5. 健康づくりのための生活習慣に対する保健指導(グループワーク)</p> <p>第7回 患者教育発表(ロールプレイング)</p> <p>第8回 修了試験</p>				
看護師国家試験出題基準	<p>生活習慣病対策、健康日本21、健康増進法、健康フロンティア、がん対策基本法、特定健康診査、特定保健指導、メタボリックシンドローム診断基準、1新健康フロンティア戦略、保健・医療・福祉システムの連携協働、成人の健康に影響を及ぼす発生源(嗜好、生活行動、生活環境、経済背景・雇疾病予防の種類と役割(ゼロ次予防、1次予防、2次予防、3次予防)、主体的な健康づくり、ヘルスプロモーション、ヘルスプロモーションモデル、自己効力、健康増進のための環境づくり、地域社会・職場におけるヘルスプロモーション促進への看護、職業に関連する健康問題</p> <p>職業性・作業関連疾病と症状、労働基準法、労働安全衛生法、作業環境管理、作業管理、健康管理、トータルヘルスプロモーションプラン</p> <p>健康バランスの構成要素、健康バランスに影響を及ぼす要因(ライフスタイルと健康問題、ストレスと健康問題、ライフイベントと健康問題)</p> <p>就業・労働形態、飲酒、喫煙、身体活動量低下と運動不足、肥満、生活環境衛生、感染症、がもたらす健康問題</p> <p>成人への看護の基本的アプローチ、対象の人生や健康に関する価値観の尊重、生活における楽しみ・ストレスコーピング(ストレス対処行動)</p> <p>エンパワーメント、指導技術の復習、看護理論の活用、7つの健康習慣</p>				
授業の進め方	成人保健の知識と指導の効果的な方法を理解し、グループワーク活動を通して学ぶ。				
履修のポイント・留意事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成人看護学概論で学んだ「成人の特徴と健康問題」と関連させて考える。</li> <li>2. 基礎看護援助論Ⅰで学んだ指導技術について復習してから授業に参加する。</li> <li>3. 授業形態は講義と演習である、学生の主体的学習を基本とする。</li> <li>4. 調べること、考えることから学びを深める学習を期待する。</li> </ol>				
テキスト	<p>系統看護学講座 成人看護学[1] 成人看護学総論 医学書院  厚生指針 国民衛生の動向 一般財団法人厚生労働統計協会</p>				
評価方法・配点	課題レポート・授業への参加状況(30%)、終了筆記試験(70%)で評価する。				